

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 新町・大町区

日 時 平成 22 年 5 月 19 日(水) 19:00 ~ 20:32

場 所 新町公民館

出席者 (市 民) 30 人

(執行部) 13 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、  
三笠協働のまち推進担当部長、和田市民生活部長、  
和田健康福祉部長、齋藤建設経済部長、宮原上下水  
道部長併会計管理者、山田教育部長、

(事務局) 今泉経営企画課長、安恒広聴広報係長、藤田地域コ  
ミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- |   |                             |               |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ(経営企画課長)              | 19:00 ~       |
| 2 | 区自治会長あいさつ(区自治会長)            | 19:01 ~       |
| 3 | 市長あいさつ(市長)                  | 19:04 ~       |
| 4 | 市職員自己紹介(経営企画課長)             | 19:13 ~       |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:16 ~       |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長)<br>(別紙) | 19:30 ~       |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長)                 | 20:30 ~ 20:32 |

	発言の主旨	回答
--	-------	----

意見 1	正月 3 ケ日木下病院の横の道から進入できなくなり、自宅に戻るのに大きく迂回しなければならず、2 時間以上がかかることがある。(許可書などの)地元車に対する対策をしてほしい。	(市長) 交通渋滞対策は太宰府市の最大の課題です。抜本的解決にはなりません、一方通行や交差点改良など、今できる対策から講じています。国や県に対しても新たな道路を要望していますが、実現には至っていません。引き続き研究していきます。
意見 2	今後税収が減少する。行政として未来をどのように描いているのか。身の丈にあった行政を行っていかねば将来の負担が増加する。	(市長) 人口減少社会になり生産者年齢人口が少なくなり税収は減少すると考えられます。しかし、市民のための必要な財源は確保していかなければならず、そのためには新しい財源の確保が必要になります。さらには優良起債も活用しながら身の丈に合った財政運営を行っていきたいと思います。
意見 3	近隣の状況を参考にし、議員定数の見直しを検討してはどうか。議員自身が定数削減を提案しないのではないか。市民目線で検討してほしい。	(市長) 市執行部からの定数削減提案は考えていません。議会が主体的に考え自浄作用を行うべきと考えます。現在、議員で構成する特別委員会を設置し調査研究を行っています。今年の 6 月議会で削減数は未定ですが、結論が出される見込みです。
意見 4	史跡地の買上げについて、市民が一部負担せずに国費で購入すべき。95%の補助があるとしても、太宰府市民が 4 ~ 5 億出すことになる。国のために努力ということは納得できない。以前は文部省が責任を持って購入していたと思う。今後史跡地の指定面積が増えることも予想される。	(市長) 首長として、全額補助金で購入できるよう要望はしていますが、よその地域にない特性として応分の負担は仕方がないと考えます。今後市の負担が増加する可能性もあり、現状維持できるよう努力していきたいと考えています。100 年後も誇りに思える美しい景観を

	<p>また買上げを行った後の景観の保全について指針を示さないと景観が保たれなくなる。</p>	<p>守るため、平成 22 年 10 月までには景観条例あるいは市民遺産を守り育てる条例を制定すべく市民会議などに諮りながら進めているところです。</p>
意見 5	<p>九州国立博物館が予想を超える来館者数である。この経済効果は？</p>	<p>(市長)</p> <p>平成 20 年度に経済効果波及調査を行い、62 億円の効果があったと結果が出ています。特に参道を中心とした地域での効果が大きいようです。今後は政庁跡や水城跡などにも回遊していただくための仕掛けが必要だと考えています。例えば花いっぱい運動や古都の光などのイベントやトイレや駐車場・解説板の整備などがあります。さらに景観風致計画が採択されれば、さらなるまちづくりができると考えています。</p>
要望	<p>トイレの整備は重要である。来客者のリピーター効果がある。古賀サービスエリアのトイレはホテル並みでそのためだけに停車するという。さらなる整備を要望します。</p>	
意見 6	<p>地域コミュニティづくりの資料の中で、穿った見方をすれば、例えば A 区が行っている文化祭を B 区がしていないので、B 区もするようになると言われ、行事を増やすためにするようと思われる。</p>	<p>(協まち部長)</p> <p>協働のまちづくりの考え方として、地域の問題はそこに暮らす住民の皆さまが熟知されており、解決の方法としては皆さんと一緒にアイデアを出し合いながら築いていきたいと考えます。一つの自治会では解決できない問題も校区単位で考え、協力し合うことで解決に近づくかもしれません。まずはできるところからやっていただくということになります。</p>

意見 7	「協働のまち」を実施する上で、市は何をするのか。行政の強みとは何か。	<p>(市長)</p> <p>活動支援の補助金を一定の枠内で自治会・校区単位で交付し、使いやすくしています。また、担当職員を3人配置し、毎日のように自治会長さんと協議をしながら、悩みながら一緒に取り組んでいきたいと考えています。</p>
意見 8	地域コミュニティの代表が会議を繰り返すことで支出が増えることがないように、またコミュニティセンターを造るなど箱物行政で余分な支出が増えることがないように要望する。	<p>(市長)</p> <p>市民に主体性をまかせ行政は後方支援という形でかかわっていく、これが本来の姿と考えます。日常の中で地域力を高めることが非常時の力になると思います。また、館がすべて悪だとは思いません。必要なものは整備し、また既存の空き施設の活用なども検討していきます。</p>
意見 9	<p>独居老人で動けないので介助を求めたら、申請のために窓口に来いと言われた。動けるようになって申請に行ったら3ヶ月要すると言われた。日々は元気で過ごしているが、以前、怪我をしたり、急な病気のときにどこに連絡すればよいか判らないので市役所に尋ねたら、3回とも電話番号を教えてもらえなかった。社会福祉協議会に電話したら予約が必要と言われた。予約できないような突発的なときのボランティアへの連絡などの対応はできないのか。太宰府市は遅れている。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご存知の通り介護保険やヘルパー派遣には認定や事前予約などが必要で、即時の対応はできません。普段は自立していても急に介助が必要になった時は、市の福祉課や社会福祉協議会、介護支援センター・民生委員さんに連絡をしてください。また、隣近所の方に気軽に連絡できるためにも、地域力を高める必要があると思います。自治会長も独居老人の把握はしてあるだろうし、自治会の中にもボランティアの方もいらっしゃるでしょう。</p> <p>ご指摘があった不適切な対応については、今後はやさしさ・親切心を持って対応するよう指導・徹底します。</p>